

# 検査情報月報12月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2023年12月発行

## 食品中の動物用医薬品検査結果（令和5年5月～9月）

▶ 動物用医薬品は動物の疾病の治療、予防及び発育促進の目的で使用されています。畜水産食品中に残留する動物用医薬品が人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は残留基準を設定しています。

▶ 当所では、市内流通及びインターネット購入品の畜水産食品について検査を行っています。今回は、医療局食品専門監視班が令和5年5月、7月及び9月に収去及びインターネットで購入した食品の検査結果を報告します。

**主な結果** ▶ 5月には、牛の筋肉、豚の筋肉、牛の脂肪及び豚の脂肪の計12検体について、7月には、すずき目魚介類、さけ目魚介類、エビ及びうなぎ蒲焼の計10検体について、9月には、牛の筋肉、豚の筋肉、鶏の筋肉及び豚の脂肪の計11検体について、検査を行いました。

▶ これら**全ての検体が、全ての項目で不検出**でした。

## 横浜市感染症発生動向調査（市内インフルエンザ流行状況）

▶ 横浜市では、衛生研究所 感染症・疫学情報課内に横浜市感染症情報センターを設置しています。本センターでは感染症対策の一環として、市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、速やかに提供・公開しています。

**主な結果** ▶ **インフルエンザ**の流行状況は、市内153か所の医療機関から週ごとに報告される患者数の平均値（**定点あたり患者報告数**）で把握されています。

▶ 今シーズン2023/2024は例年の同時期と比較して報告が多く、10月5日に**流行注意報**が発令されました。

